

紋別市のあゆみ

西 暦	年 号	で き ご と
1685	貞享2年	松前藩宗谷場所を開設。(紋別漁場は宗谷場所に属す)
1790	寛政2年	宗谷場所を3分割し樺太、斜里場所が独立する。 紋別番屋の開設。
1801	享和元年	エゾ地御用掛松平忠明に随行の磯谷則吉紋別番屋に4日間滞留する。
1807	文化4年	エゾ地全島幕府の直轄となる。 宗谷斜里警備の津軽藩士に水腫病発生し翌春にかけて多数の死亡者出る。
1821	文政4年	エゾ地松前藩に復領。
1846	弘化3年	松浦武四郎北見沿岸を踏査し紋別に寄行。
1855	安政2年	西エゾ地神威岬からオホーツク海岸知床岬までと樺太は秋田藩の警備持場となる。
1857	安政4年	紋別御用所でカッペル(ストーブ)2器取り付け。
1859	安政6年	エゾ地を奥羽6大藩に分領し紋別は会津藩領となる。 紋別番屋前で牝馬1頭出産。(紋別ではじめての馬が生まれた)
1866	慶応2年	会津藩士初山省介北見国代官として紋別に着任。翌年帰藩。
1868	明治元年	箱館裁判所設置。 箱館裁判所を箱館府と改称。
1869	明治2年	開拓使が置かれる。 エゾ地を改めて北海道とし、11国86郡を定め北見国のうち紋別郡が誕生。 紋別郡は和歌山藩支配地となる。(翌年8月免ぜられる) 紋別場所は函館使庁産物掛の管理となる。
1872	明治5年	紋別郡10ヶ村の村名きまりモンベツ村と呼称。 紋別郡戸長に盛田辰蔵任命。 官立紋別病院設置。 藤野伊兵衛駅通所を開設。
1875	明治8年	村名を漢字に改め紋別村となる。
1876	明治9年	駅通局所管5等紋別郵便取扱所開設。 漁場持制度を廃し漁業権を開放。 紋別、斜里、網走に根室から官馬10頭配備。
1877	明治10年	紋別に浦役場設置。
1880	明治13年	紋別戸長役場開設。戸長事務取扱いに竜田治三郎を任命。 この年を「開基の年」と定める。
1882	明治15年	開拓使を廃止し、全道を札幌、函館、根室の3県に分割。 2代目戸長に半沢真吉就任。
1883	明治16年	紋別郡一円を管内とする紋別巡査派出所の設置。
1885	明治18年	紋別郡鮭漁業組合設立。
1886	明治19年	三県制を廃し北海道庁設置。 古屋憲英静堂病院開業。 紋別学舎の開設。 根室始審裁判所紋別登記所設置。 紋別魚粕製造組合設立。
1887	明治20年	行政と警察制度が一本化され、坂本戸長分署長を兼任。
1888	明治21年	紋別水産組合設立。
1891	明治24年	網走から紋別經由稚内に達する電信線が架設され、紋別郵便局に電信局を併置。
1892	明治25年	修業年限3ヵ年の紋別簡易小学校が開校。

西 暦	年 号	で き こ と
1892	明治25年	橋詰正夫戸長兼署長に就任。
1893	明治26年	紋別納税所建設。
1894	明治27年	田村順厚戸長兼署長に就任。
1895	明治28年	高橋重郎戸長兼署長に就任。
1897	明治30年	紋別外9カ村戸長役場から湧別村分離。 郡役所を廃し支庁を置き、地方行政から警察行政が分離独立した。 商業談話会設立。
1898	明治31年	渚滑原野大水害に見舞われる。
1899	明治32年	根室裁判所紋別出張所設置。 山梨県人伏屋よしの質屋業開始。(質屋のはじまり)
1900	明治33年	渚滑村分村し、渚滑村戸長役場を開設、初代戸長は紋別戸長宮下兼松が兼任。 小向官設駅通所開設。
1903	明治36年	湯屋から出火し前浜通り一帯の中心街を焼く。 渚滑村役場庁舎を14線に新築移転。
1904	明治37年	紋別名寄間道路開通。
1905	明治38年	菅原栄之進、八十士金鉱を発見。
1906	明治39年	渚滑村戸長役場を廃し2級町村制を施行。初代村長に宮下兼松が就任。
1907	明治40年	紋別外1カ村漁業組合設立。 藻別村で初の水田試作行う。 網走外3郡産牛馬組合紋別支部結成。
1908	明治41年	網走営林区署紋別分署設置。
1909	明治42年	沙留村、瑠椽村の2村を分離し、藻別村を合して2級町村制を施行、初代村長に池沢享就任。 第1回村会議員選挙施行。 町有漁業権貸付規則制定。
1912	大正元年	樋口金蔵2代村長に就任。
1913	大正2年	この冬大雪のため瀬川牧場で馬百数十頭が斃死。
1914	大正3年	紋別商業組合発足。
1915	大正4年	渚滑村役場庁舎20線に移転。 沖野永蔵、羽柴義鎌の両名鴻之舞元山口之沢で転石を発見。(鴻之舞金山発見の第1歩である)
1916	大正5年	黒川外7名沼の上鉱山を発見。 鴻之舞金山は8名の匿名組合で操業を開始。
1917	大正6年	紋別市街に特設電話架設。 鴻之舞金山は90万円で住友本社と売山契約成る。 吉田重静4代紋別村長に就任。(初代紋別町長)
1918	大正7年	渚滑村から滝上村が分離独立。
1919	大正8年	紋別町と改称される。 初代町議会議員選挙執行。
1920	大正9年	第1回国勢調査実施。 国上国太郎2代目町長に就任。 紋別電灯会社設置されガス発電により町内に点灯。
1921	大正10年	国鉄名寄本線全線開通。 新沼文治郎「紋別町誌」発刊。 1級町村制施行。

西 暦	年 号	で き こ と
1921	大正10年	1級町村制施行最初の町議会議員選挙執行。 岩倉梅吉3代町長に就任。 網走警察署紋別分署が本署に昇格。
1922	大正11年	沼ノ上郵便局開局。 渚滑川のはんらんで下渚滑一帯水浸しとなる。 ホタテ漁船の大海難事故発生。
1923	大正12年	紋別港修築工事5ヵ年継続事業で着工。
1924	大正13年	タラバガニ缶詰工場創設。 沖合漁業が盛んとなり、カマボコ、チクワ類の製造が行なわれる。
1925	大正14年	福田瑛三4代町長に就任。
1927	昭和2年	古屋正気紋別漁業協同組合長に就任。 紋別商工会設立。
1928	昭和3年	土門玄吾5代町長に就任。 大西真平道議に当選。
1929	昭和4年	区長区域定まる。 紋別町開発期成同盟会設立。
1930	昭和5年	紋別市街の大火災発生。
1931	昭和6年	池沢享三王鉦山開発に着手。 北防波堤灯台完成。
1932	昭和7年	渚滑村から下渚滑村分村。 上水道給水開始。 渚滑村で大水害発生。
1933	昭和8年	中藻別郵便取扱所開設。 鴻之舞郵便局開設。 三王鉦山を住友が買収。
1934	昭和9年	鴻之舞鉦山ダム決壊し鉦毒事件発生。 公益質屋開設。
1935	昭和10年	紋別漁業協同組合発足。
1936	昭和11年	古屋正気、土田巳之助道議に当選。 紋別小学校校庭で皆既日蝕の観測を行なう。
1937	昭和12年	渚滑村を上渚滑村に村名改称。 紋別町銃後後援会結成。
1938	昭和13年	池沢憲一音羽鉦山を発見。 知見喜一郎元紋別銅山を発見、住友と共同経営。 上藻別郵便局取扱所開設。 役場庁舎新築落成。 職業紹介所開設。
1939	昭和14年	旧『紋別町史』編さんに着手。
1940	昭和15年	町役場鴻之舞出張所開設。 小向郵便取扱所開設。 下渚滑村を渚滑村に村名改称。 開基60年記念式典挙行。 八十士水銀鉦発見。
1941	昭和16年	町内会、部落会の設立。
1942	昭和17年	紋別町文化委員会発足。

西 曆	年 号	で き こ と
1942	昭和17年	紋別国民職業指導所開庁。 小向重粘土試験場設置。 住友鉱業八十土水銀鉱山の開発に着手。
1943	昭和18年	紋別小学校を仮校舎にして紋別中学校(旧制)開校。 新津長6代紋別町長に就任。
1944	昭和19年	日本医療団紋別病院開業。 旧『紋別町史』発刊。
1946	昭和21年	港まつり復活。
1947	昭和22年	公選初代町長に大西真平当選。 紋別中学校(新制)開校。 道議会議員に古屋正気、参議院議員に岡村文四郎が当選。 消防団令の交付で紋別消防団設立。 紋別簡易裁判所設置。
1948	昭和23年	自治体警察署開庁、公安委員会発足。 旧制中学校、女学校が北海道立高等学校(新制)となる。 遠軽保健所紋別出張所開院。 道立紋別病院開院。 紋別港の第3期拡張工事はじまる。 鴻之舞鉱業所操業再開。
1949	昭和24年	衆議院議員に松田鉄蔵が当選。 開基70年記念式典挙行。 紋別漁業用短波海岸局開局。 紋別町に監査役員制度おかれる。 紋別南簡易郵便局開局。 沼ノ上に家畜人工授精所設置。 潮見小学校の建築に着手。(完成27年)
1950	昭和25年	道立紋別女子高等学校が道立紋別高等学校と統合男女共学となる。 紋別特定郵便局、普通郵便局に昇格。 紋別市街海岸通りに火災発生56棟、72戸を全焼。 町役場鴻之舞出張所が支所に昇格。 紋別電報電話局開局。 小向に家畜人工授精所設立。
1951	昭和26年	紋別商工会議所発足。 道立水産試験所紋別分場設置。
1952	昭和27年	元紋別簡易郵便局開局。 紋別町公民館開館。 南が丘球場完成。 紋別町教育委員会発足。 道総合開発第1次5ヵ年計画策定。 乙荷揚場工事に着工。(完成30年)
1953	昭和28年	釧路海上保安部紋別分室設置。 西紋別郡地方の冷雨凶作がこの年から連続5年間続いた。
1954	昭和29年	3町村(紋別町、上渚滑村、渚滑村)合併市制施行促進期成会発足。 市制施行(道内19番目)初代市長ならびに市議会議員選挙を執行。 初代市長に大西真平が就任。

西 暦	年 号	で き こ と
1954	昭和29年	市制施行記念式典挙行。 紋別海上保安署に昇格。 紋別市労働会館建築。
1955	昭和30年	紋別市婦人団体連絡協議会発足。 上渚滑地区公民館、渚滑地区公民館設置。 広崎協同漁業部所属第18弁天丸遭難、乗組員8人全員死亡。 田中利明世界卓球選手権個人優勝。(32年再度優勝) 第1回もんべつ観光港まつり開催。 鴻輝小学校開校。
1956	昭和31年	紋別測候所業務開始。 紋別職業安定所に昇格。 紋別青年会議所発足。 渚滑保育所新設。 散水事業開始。
1957	昭和32年	大西市長退任。(名誉市民第1号の称号を贈る) 市長および市議補欠選挙執行。(官尾貫市2代目市長に当選する) 名誉市民大西真平翁の市葬執行。 市制3周年記念式典。 紋別中学校10周年記念および校舎落成記念式典。 公共下水道事業認可。
1958	昭和33年	堀川才治郎市議死亡により市議会葬。 国民健康保険事業が始まる。 青年研究所新築落成。
1959	昭和34年	巡視船「そらち」配置される。 紋別市統計協議会設立。 紋別観光協会創立。 三菱沼の上鉾山閉山。
1960	昭和35年	青年問題協議会設立。 開基80周年記念式典挙行。 紋別灯台点灯式。 紋別市史発刊。
1961	昭和36年	国民年金業務開始。 紋別市立花園高等学校開校。 6年ぶりにホタテ漁解禁。 紋別市立潮見中学校開校。
1962	昭和37年	紋別海上保安署、保安部に昇格。 広報モニター制度発足。 南埠頭築設工事着工。(42年完成中央埠頭と改称) 紋別畜産センター竣工。 NHK紋別テレビ中継放送所開局。 産業会館全焼。
1963	昭和38年	紋別空港起工式。 少年補導センター開設。 第1回紋別流氷まつり開催。 佐藤貞助氏に名誉市民の称号。(第2号)

西 暦	年 号	で き こ と
1963	昭和38年	肢体不自由児父母の会「おやしお会」結成。
1964	昭和39年	紋別市民憲章制定。 紋別市立オホーツク青年の家開所。 紋別税務署庁舎落成。
1965	昭和40年	「流紋岩」市指定文化財となる。 紋別市役所新庁舎落成。 みどり保育所落成。 北見パルプ紋別工場落成。 北海道大学低温科学研究所附属流氷研究施設開設。 小向原生花園が市指定文化財となる。 潮見地区プール完成。
1966	昭和41年	紋別とニューポート市姉妹都市提携。 市営キャンプ場開設。 武徳殿完成。 紋別市立花園高校、道に移管され、紋別南高等学校となる。 花園地区プール完成。 紋別児童館落成。 佐竹精一市議会議長死亡により市議会葬。 紋別市スキーパトロール赤十字奉仕団結成。 紋別空港完成。 紋別・丘珠間セスナ206A(5人乗り)就航。
1967	昭和42年	名誉市民佐藤貞助翁市葬執行。 上渚滑地区簡易水道通水式。 第22回国体軟式野球北海道大会開催。 第2船揚場完成。 大山展望台完成。 渚滑地区プール完成。
1968	昭和43年	岡村文四郎元参議院議員に名誉市民の称号。(市民葬) 紋別警察署庁舎落成。 紋別市郷土博物館落成。 労働福祉会館落成。 市立養護老人ホーム安養園開設。 国鉄コンテナ出発式。
1969	昭和44年	渚滑川1級河川に昇格。 菅原啓3代市長に就任。 紋別市交通災害共済開始。 NHK鴻之舞テレビ中継局開局。 日本硬式野球連盟公認野球場完成。 紋別市立南丘小学校落成。 紋別・丘珠間セスナ402(9人乗り)就航。
1970	昭和45年	船員保険寮落成。 道道紋別上川線国道(273号線)に昇格。 遠紋地区広域市町村圏振興協議会(1市11町村)を設立し振興計画に着手。
1971	昭和46年	紋別駅落成。 元紋別水害。

西 暦	年 号	で き こ と
1971	昭和46年	第20回全道フォークダンス大会開催。 柳沢長治、てん菜増産酪農健全経営で天皇杯受賞。 上渚滑駅前商店街6戸全焼。
1972	昭和47年	市民会館、中央公民館落成。 市公害防止令を交布。 下水道終末処理場簡易処理運転始める。 紋別運動公園造成事業に着手。 紋別市他4町村共同し尿処理施設建設。
1973	昭和48年	紋別地区消防組合発足。 市立特別養護老人ホーム安養園開設。 鴻之舞鉱山閉山。 第3船揚場完成。
1974	昭和49年	北海道産業学園と誘致協定。 南が丘児童館落成。 道立紋別病院新築完成。 市制20周年記念式典。 市の木(ナナカマド)市の花(ハマナス)の決定。 上渚滑地区プール完成。 松田鉄蔵元衆議院議員に名誉市民の称号。(市葬) 道立紋別北高等学校新校舎完成。 終末処理場において、し尿処理開始。 公益質屋廃止。 紋別・丘珠DHC-6(19人乗り)就航。
1975	昭和50年	スポーツセンター落成。 紋別港、重要港湾に昇格。 流氷展望台完成。 上渚滑児童館落成。 身体障害者福祉会館完成。 ダイヤル不用品交換を開始。
1976	昭和51年	紋別市総合計画策定に着手。 姉妹都市提携10周年記念式。 第1回高齢者スポーツ大会開催。 渚滑児童館、落石児童館完成。
1977	昭和52年	金田武4代市長に就任。 大野広太郎氏名誉市民の称号(市葬) 潮見地区に市内初めての新住居表示実施。 紋別葬苑火入れ式。 林業研修宿泊センター完成。
1978	昭和53年	道都大学開学。 南が丘地区プール完成。 日ソ友好親善使節団訪ソ。(サハリン州) 海底ボーリング船第3白竜による紋別沖の石油試掘。 市長を囲む移動相談室開設。 大山児童センター落成。
1979	昭和54年	開基100年、市制施行25周年式典挙行。

西 暦	年 号	で き こ と
1979	昭和54年	オホーツク森林公園オープン、タイムカプセル埋設。
1980	昭和55年	紋別港、関税法に基づく開港指定。 水産試験場紋別分場庁舎落成。 道立紋別保健所庁舎落成。 紋別運動公園広場躍動の像除幕。 潮見小学校開校30周年記念式典。 潮見中学校開校20周年記念式典。 第1回もんべつ海産まつり開催。
1981	昭和56年	紋別中央公園開園。 上渚滑地区体育館オープン。 紋別小学校新校舎落成。 紋別・丘珠間YS-11型機就航。 紋別バイパス鍬入式。 紋別港北副防波堤燈台移設。
1982	昭和57年	精神薄弱者授産施設「オホーツク福祉園」着工。 南が丘公営住宅(セットバック型住宅)完成。
1983	昭和58年	「オホーツク福祉園」開園。 潮見小学校新校舎落成。 オホーツク庭園開園。 渚滑地区体育館オープン。
1984	昭和59年	市制施行30周年式典挙行。 老人福祉センター開設。 国道273号線浮島トンネル開通。
1985	昭和60年	国鉄渚滑線廃止。 北海道紋別養護学校開校。 南が丘中層公営住宅団地完成。 旧ソ連200海里規制が強まりツブ(3隻)、ズワイカゴ(7隻)減船。
1986	昭和61年	第1回北方圏国際シンポジウム開催。 上渚滑町民センター完成。 旧ソ連200海里規制が更に強まり沖合底曳船(7隻)を減船。
1987	昭和62年	弘道小学校閉校。 流水砕氷船「ガリンコ号」就航。 紋別中学校新校舎完成。 渚滑市民センター完成。
1988	昭和63年	(仮称)紋別市文化会館建設に着手。 紋別バイパス、一部供用開始。 中渚滑地区多目的研修センター完成。 みどり保育所改築。 紋別医師会看護高等専修学校改築。 学園地区道営住宅建設。
1989	平成元年	紋別市統計協議会創立30周年記念式典開催。 JR名寄(本)線廃止(4月30日) (仮称)道立オホーツク流水科学センター、健康プール建設に着手。 開基110年・市制施行35周年記念式典挙行。 紋別市文化会館落成。

西 暦	年 号	で き ご と
1989	平成元年	第3次紋別市総合計画基本構想策定。
1990	平成2年	宇津々小学校閉校。 菅原啓元紋別市長に名誉市民の称号。 千歳空港へ乗り入れにより復便化。 元紋別小学校改築。 花園中層公営住宅団地完成。 オホーツクニューシティ計画の策定。 「紋別市健康プール(ステア)」オープン。
1991	平成3年	紋別市とコルサコフ市(ロシア)姉妹都市提携。(1月12日) 常陸宮殿下、同妃殿下ご来紋。 道立オホーツク流氷科学センター(ギザ)オープン。 紋別市とフェアバンクス市(アメリカ合衆国)姉妹都市提携。(2月8日) 市役所OA化推進による住民情報システム稼動。 立牛小学校閉校。(3月31日) 上藻別小学校閉校。(3月31日) 第3セクターの紋別ニューシティー開発公社設立。(5月19日) 姉妹都市締結25周年を記念して、アメリカオレゴン州ニューポート市長外来紋。 サハリン州コルサコフ市代表団来紋。(8月9日) 第3セクターの(株)オホーツク流氷科学研究所設立。(8月20日) 高規格幹線道路、旭川・紋別自動車道上北トンネル着工。(9月26日) 第6次空港整備5ヵ年計画に紋別空港のジェット化(移転新設)採択。(11月29日)
1992	平成4年	元紋別小学校体育館完成。(2月17日) 元紋別小学校新校舎落成及び開校65周年記念式典挙行。(3月14日) 渚滑駅構内パークゴルフコースオープン。(4月2日) 室内ゲートボール場「そよかぜほーる」オープン。(5月1日) 潮見中学校新校舎落成。(7月23日、体育館は5年10月完成予定) 学校週休5日制(第2土曜日のみ)スタート。(9月12日) 紋別無線方位信号所廃止。(9月30日) 高齢者ふれあいセンターオープン。(10月3日) 紋別小学校開校100周年記念式典挙行。(10月4日) 紋別地域森林関連産業労働組合連合会結成。(11月29日)
1993	平成5年	市民大学講座開講。(2月20日) 更生施設「こまくさ学園」開園。(4月1日) 紋別地区消防組合設立20周年記念式典挙行。(9月5日) 紋別北高創立50周年記念式典挙行。(10月10日) 大山山頂のテレビ中継局送受信アンテナ(オホーツクスカイタワー)が完成、試験電波発射。(10月29日) 39年間の歴史を刻んできた紋別市労協の解散大会が行われる。(12月5日)
1994	平成6年	大山山頂園にスカイタワーオープン。(4月29日) 市民憲章制定30周年記念式典挙行。功労者表彰が行われた。(7月1日) 紋別市制40周年記念式典挙行。(10月8日) 紋別養護学校10周年記念式典挙行。(10月23日) 国道238号線紋別バイパスが開通。(11月1日)
1995	平成7年	紋別市保健センター落成記念挙行。(2月18日) 元紋別ガリヤ地区が、建設省の「道の駅」に指定される。(4月11日) オホーツク交流センターオープン。(7月1日)

西 暦	年 号	で き ご と
1996	平成8年	世界初の氷海観測展望施設「オホーツクタワー」と親水防波堤がオープン。(2月12日) 中立牛小学校閉校。(3月31日) 道都大学美術学部移転。(3月31日) 紋別－札幌都市間バス運行開始。(4月11日) 紋別南高校創立40周年記念式典挙行。(10月12日) 「オホーツクインターネット」開局。(11月1日)
1997	平成9年	新流氷砕氷船「ガリンコ号Ⅱ」就航式。(1月20日) 沼ノ上地区簡易水道通水式典挙行。(2月18日) 紋別漁業協同組合婦人部創立40周年記念式典挙行。(3月2日) 紋別市港湾合同庁舎開所式。(4月1日) 紋別高等養護学校開校。(4月16日) 紋別市婦人団体連絡協議会は「紋別市女性団体協議会」と名称変更。(4月23日) オホーツクタワーの入館者20万人突破。(5月3日) 上渚滑中学校開校50周年記念式典挙行。(5月18日) 藻別郵便局廃局。(6月20日) 赤井邦男5代市長に就任。(6月30日) 函館税関釧路税関支署紋別分室を「紋別出張所」に名称を変更。(7月1日) 紋別市青少年健全育成推進協議会創立20周年記念式典挙行。(8月23日) 中渚滑地区開基百年を祝う記念式典挙行。(9月14日) 紋別飲料店組合創立40周年記念式典挙行。(10月5日) 紋別中学校開校50周年記念式典挙行。(10月18日) オホーツク流氷科学センター「ギザ」の入場者40万人突破。(11月2日) 紋別市ボランティアセンター発会式。(12月8日) 紋別市藻別保育園閉園式。(12月13日)
1998	平成10年	紋別市議会の議員定数を2人削減、24人に決定。(3月6日) 紋別市農業共済と西紋農業共済が合併し「オホーツク中央農業共済組合」が発足。(4月1日) 市の資源ごみ分別収集がモデル地区の花園町で始まる。(4月6日) JA紋別市農業協同組合創立50周年記念式典挙行。(4月27日) オホーツク紋別空港～千歳線運航休止。(5月1日) オホーツクタワーの入館者30万人突破。(5月10日) 紋別産業会館が「紋別経済センター」に名称変更。(6月1日) 紋別消防百年を記念して中央公園に記念碑建立。(6月19日) オホーツク健康プール(ステア)の利用者70万人突破。(7月7日) 第44回もんべつ観光港まつり、ディズニー人気で32万人と過去最高の人出。(7月26日) 橋本大二郎知事を迎えて高知県人会紋別支会発足。(8月30日) 紋別商工会議所創立50周年記念式典挙行。(9月1日) 台風5号が北海道に上陸、紋別にかつてない被害をもたらした。(9月16日) 西紋地区初の老人福祉施設「サン・ヒルズ紋別」がオープン。(10月1日) 紋別ライオンズクラブ創立35周年記念式典挙行。(10月5日) 渚滑中学校開校50周年記念式典挙行。(10月11日) 紋別スキー協会創立50周年記念式典挙行。(10月25日) 紋別柔道協会創立50周年記念式典挙行。(11月22日) 市役所でパスポートの申請や交付ができる道内4番目の「移動窓口」開設。(12月3日)
1999	平成11年	紋別市統計協議会創立40周年記念式典挙行。(2月26日) 道内で25番目となる、紋別市シルバー人材センター発足。(3月10日)

西 暦	年 号	で き ご と
1999	平成11年	<p>小向中学校閉校。(3月31日)</p> <p>「紋別総合住宅ケアセンター」が市立安養園内に開設。(4月14日)</p> <p>人工海水浴場「オホーツクもんべつホワイトビーチ」オープン。(5月1日)</p> <p>渚滑高齢者ふれあいセンターオープン。(5月7日)</p> <p>日専連紋別青年会創立30周年記念式典挙行。(5月25日)</p> <p>渚滑町元新のせせらぎ公園オープン。(5月30日)</p> <p>新しいまちづくりを考える、中心市街地活性化基本計画策定委員会とTMO計画策定委員会が発足。(6月30日)</p> <p>紋別信用金庫創立50周年記念式典挙行。(7月3日)</p> <p>オホーツクタワーの入館者40万人突破。(7月6日)</p> <p>オホーツク健康プール(ステア)の利用者80万人突破。(8月5日)</p> <p>中渚滑小学校開校百年記念式典挙行。(8月13日)</p> <p>紋別測候所観測で歴代5番目の34.9度を記録。(8月21日)</p> <p>紋別漁業協同組合創立50周年記念式典挙行。(9月26日)</p> <p>上渚滑地区開基百年記念式典挙行。(10月3日)</p> <p>紋別市中心市街地活性化推進協議会発足。(10月8日)</p> <p>紋別市消費者協会創立30周年記念式典挙行。(10月15日)</p> <p>オホーツクとっかりセンター「ゴマちゃんランド」オープン。(11月9日)</p> <p>渚走路2000mの新オホーツク紋別空港開港、千歳線にジェット機就航。(11月11日)</p>
2000	平成12年	<p>昨年11月に開港した新オホーツク紋別空港の搭乗者数が1万人突破。(1月13日)</p> <p>流氷砕氷船「ガリンコ号Ⅱ」の乗船者が10万人突破。(2月13日)</p> <p>紋別高等養護学校開校以来初の卒業式。(3月10日)</p> <p>沼ノ上中学校閉校。(3月31日)</p> <p>上渚滑高齢者ふれあいセンター、オープン。(4月14日)</p> <p>平年より10日遅れでサクラ開花。(5月21日)</p> <p>水産製品検査センターで修ばつ式行われる。(6月2日)</p> <p>紋別青年会議所創立45周年記念式典挙行。(6月17日)</p> <p>新オホーツク紋別空港に市民待望の東京直行便就航。(7月1日)</p> <p>紋別独自の交通安全運動始まる。(8月21日)</p> <p>潮見小学校開校50周年記念式典挙行。(9月23日)</p> <p>渚滑小学校開校100周年記念式典挙行。(10月1日)</p> <p>紋別医師会看護高等専修学校で最後の戴帽式行われる。(10月26日)</p> <p>上渚滑小学校開校100周年記念式典挙行。(11月5日)</p> <p>新オホーツク紋別空港開港1周年記念式典挙行。(11月11日)</p> <p>NTT紋別営業所が48年の歴史に幕を閉じ、窓口業務を終えた。(12月22日)</p> <p>オホーツク健康プールのステアが開館10周年を迎える。(12月23日)</p>
2001	平成13年	<p>沼の上小学校新校舎落成式典挙行。(1月20日)</p> <p>紋別市・上渚滑町・滝上町・西興部村の西紋4農協が合併。新しい農協「オホーツクはまなす農業協同組合」が発足。(3月1日)</p> <p>紋別ひまわり基金法律事務所が北海道初、全国で3番目に開所。(4月9日)</p> <p>紋別市長に赤井邦男氏再選。(6月17日)</p> <p>大規模流出油事故対策訓練が日露共同で行われる。(7月10～13日)</p> <p>アメリカ・ニューポート姉妹都市35周年、サハリン・コルサコフ市姉妹都市10周年の記念行事が行われる。(7月20日)</p> <p>第12期女流王位戦が紋別市で開催。(清水王位対中井五段)(10月3日)</p>

西 暦	年 号	で き ご と
2001	平成13年	藻別小学校開校100周年記念式典挙行。(11月3日) オホーツク健康プールのステアの利用者が市内施設初100万人突破。(11月17日) 旧紋別空港跡地に日独合弁のブレーキ・システム開発会社コンチネンタル・ターベス社の進出が決まり正式調印をする。(11月19日) 紋別市総合福祉センター・はーとびあ21オープン。(12月8日) 紋別市議会議員定数が24人から3人減の21人とする条例改正案が可決。(12月13日)
2002	平成14年	さいわいデイサービスセンターがオープン。(1月21日) オホーツク紋別FC(フィルムコミッション)が北海道の市町村で初の設立。(1月28日) 旧紋別空港跡にコンチネンタル・ターベス㈱テストコースが開所。(2月12日) 紋別医師会看護高等専修学校が昭和29年からの長い歴史に、ピリオド。(3月1日) 市誘致企業の㈱オグラ宝石工業紋別製作所が撤退。(3月20日) 紋別市が過疎地域指定を受ける。(4月1日) 紋別市立博物館が新しくオープン。(4月13日) 紋別～丘珠間を結んでいたYS機に代りDHC-8機が就航。(7月1日) 議員定数が24名から21名に削減後初の市議会議員選挙が行われる。(7月21日) 「青少年サハリン友情の船」に紋別市から初めて中学生10人、引率2名が参加。(7月31日～8月6日) 住民基本台帳ネットワークシステムの第1稼働が始まる。(8月5日) オホーツク紋別空港が開港より20万人達成。(8月24日) スカイフェスタ2002 in 紋別が、紋別空港を会場に行われ、北海道初のアクロバット飛行(曲芸飛行)が行われる。(9月16日) 小向農村公園が完成。(9月29日) 2004年開催に向けオホーツクDOいなか博推進委員会設立。(11月28日) 渚滑町元新(一部)の字名が元新1丁目～5丁目に変更。(12月24日)
2003	平成15年	紋別空港に初の関西・九州臨時便運行。(2/28・3/1・3/1・7/4・7/6) 西紋別地区市町村合併調査研究会立ち上げ。(3月25日) 紋別ひまわり基金法律事務所所長交代、公設で2年任期での交代は全国初。(4月1日) 第3埠頭に3万トン級の大型船の入港可能な「水深12メートル岸壁」完成。(4月16日) 海鮮・生鮮市場アミューズメント複合店「オホーツク氷紋の駅」オープン。(4月28日) オホーツク紋別球場完成。(5月31日) 一般ごみ・粗大ごみ有料化。(7月1日) ガリンコ号ⅡDOいなか博宣伝のため東京お台場へ。(7月9日～) 鴻紋軌道記念碑除幕式。(7月20日) 新博物館オープン1年4ヶ月で来館者5万人達成。(8月13日) 全日本シーホッパー級ヨット選手権大会開催。(8月8日) 35年の歴史に幕、丘珠定期便ラストフライト。(9月30日) 紋別・興部・西興部の三森林組合が合併新たに「オホーツク中央森林組合」となる。(10月1日) 沼ノ上小学校開校100周年記念式典。(11月2日) 国際港として開港24年目で外国防貿易船1万隻を達成。(11月7日)
2004	平成16年	DOいなか博開会式。(5月1日) ふるさと切手「流氷とガリンコ号」が日本郵政公社から発売。(5月28日) 紋別市制施行50周年記念式典挙行。(8月1日) 紋別・羽田便を利用した航空貨物事業スタート。(10月11日) 「流氷とガリンコ号」が北海道遺産に認定。(10月21日) 市内の木材関係企業が森林認証(SGEC)取得。

西 暦	年 号	で き ごと
2005	平成17年	DOいなか博閉会式。(3月21日) 藻別小学校閉校。(3月31日) 道都大学社会福祉学部が北広島キャンパスへ移転。(3月31日) 宮川良一6代市長に就任。(6月30日) 収入役を置かず収入役事務は助役が兼掌。(10月1日)
2006	平成18年	道道紋別丸瀬布線金八峠のトンネル掘削工事着工。(6月) アメリカ・ニューポート姉妹都市提携40周年、ロシア・コルサコフ姉妹都市提携15周年記念行事が行われる。(7月30日) 台風並みの低気圧が紋別を襲い、河川流域の住民に避難勧告が出され、大きな被害をもたらした。(10月7日～9日) 大型の企業誘致、よつ葉乳業北見工場内に生クリーム工場建設が決定し、工事着工。(11月) 千島列島で地震が発生し、津波警報が発令され、海岸住民に避難勧告が出された。(11月15日)
2007	平成19年	第4防波堤完成。(12月) 北海道紋別高等学校が開校。(4月10日) まちなか住宅建設開始。(6月11日) 「よつば乳業株式会社オホーツク北見工場」稼動。(11月) 紋別小学校金管バンド、初めての全国大会で「銀賞」受賞。(11月17日) 市を中心とする網走西部流域が日本一の森林認証(SGEC)エリアを形成。
2008	平成20年	初の韓国映画ロケ「Oishii Man (おいしいマン)」(3月1日～15日) まちなか芸術館オープン。(5月1日) 森から海の連環を考えるシンポジウムの開催。(7月) 紋別漁業協同組合地方卸売市場工事開始。(7月) 上渚滑診療所建替工事開始。(7月) 紋別市内循環バス実証実験開始。(9月1日) ふるさと納税寄付制度新設。(10月1日より) 上藻別駅通が登録文化財に。(10月23日) 西紋広域ごみ処理 検討段階から推進体制に向けて合意。(10月28日) 北海道紋別北高等学校(生徒数185人)閉校式。(11月1日) 紋別文化連盟NPOとしての活動スタート。(12月) 第5次紋別市総合計画議決。(12月) 地上デジタル放送、紋別デジタル局で試験放送開始。(12月22日)
2009	平成21年	北海道紋別北高等学校最後の卒業式。(3月1日) 漁協市場・農協本部が完成。(3月15日／5月11日) 交流拡大プロジェクト スポーツ合宿誘致。(5月2日～) 元、紋別市長 金田 武さんご逝去。(5月4日) 紋別市長に宮川 良一氏再選。(6月14日) 姉妹都市交流事業 コルサコフ市から高校生が来紋。(6月26日～7月1日) 交通網が充実 金八トンネル開通。(7月27日) 紋別市休日夜間急病センター開設。(8月4日) 紋別市統計協議会創立50周年記念式典挙行。(8月28日) 西紋の広域ごみ処理施設、新生地区に建設で合意。(9月2日) 紋別除雪事業開始。(国道238号、湧別町川西～紋別市小向約15km)(10月) 社団法人紋別観光協会創立50周年記念式典挙行。(10月2日) 新オホーツク紋別空港開港10周年。(11月1日) 道立オホーツク流氷公園開園。(11月15日) 紋別信用金庫、北見信用金庫と合併し解散。(11月24日)

西 暦	年 号	で き ごと
2009	平成21年	渚滑橋共用開始。(12月31日)
2010	平成22年	市の人口2万4千人台となる。(4月1日) 市立安養園、民間法人に運営移管。(4月1日) 認証材活用住宅助成事業補助金の交付開始。(4月19日) オホーツク遠紋地域産業活性化協議会設立。(4月20日) 新オホーツク紋別空港、ターニングパット供用開始。(6月3日) 新オホーツク紋別空港、東京直行便就航10周年。(7月) 議員定数が21名から18名に削減後初の市議会議員選挙が行われる。(8月1日) 道立オホーツク流氷公園”海と台地の遊び場”オープン。(8月7日) 道立紋別病院の移管について北海道と正式合意。西紋別地区と北海道が覚書締結。(9月27日) 上藻別駅通保存会に手づくり故郷賞認証。(10月23日) 道立紋別病院の移管について運営主体となる広域紋別病院企業団の設立が許可。(11月12日) 紋別市地域商品券「ガリン」販売。(11月29日) 三室番屋の船蔵復元。(12月21日) 紋別市健康プールのステア20周年。(12月23日)